



## 平成29年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年5月8日

上場会社名 株式会社 高見澤

上場取引所 東

コード番号 5283 URL <http://www.kk-takamisawa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高見澤 秀茂

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 久保 輝明

TEL 026-228-0111

四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年6月期第3四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成29年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第3四半期	40,728	10.1	790	7.4	802	7.4	634	22.0
28年6月期第3四半期	36,981	14.1	853	26.4	746	44.5	813	29.5

(注) 包括利益 29年6月期第3四半期 721百万円 ( 3.1%) 28年6月期第3四半期 744百万円 ( 49.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第3四半期	75.45	
28年6月期第3四半期	95.25	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年6月期第3四半期	32,408	9,035	27.0	1,041.19
28年6月期	27,046	8,401	30.0	966.21

(参考) 自己資本 29年6月期第3四半期 8,752百万円 28年6月期 8,124百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期		0.00		5.00	5.00
29年6月期		0.00			
29年6月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,500	5.8	780	17.6	800	13.5	550	21.6	65.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年6月期3Q	8,792,000 株	28年6月期	8,792,000 株
期末自己株式数	29年6月期3Q	385,940 株	28年6月期	383,790 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年6月期3Q	8,407,380 株	28年6月期3Q	8,538,839 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策等を背景に雇用所得環境が改善傾向にあるなど、全体的には緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、個人消費の低迷が長期化しており、また、米国新政権の政策運営や欧州の政治動向などに対する先行き不透明感により、依然として下振れリスクを抱えた状況にあります。

このような経営環境の中にあつて、当社グループの当第3四半期連結累計期間の実績は、売上高40,728百万円（前年同四半期比10.1%増）、営業利益790百万円（前年同四半期比7.4%減）、経常利益802百万円（前年同四半期比7.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益634百万円（前年同四半期比22.0%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 建設関連事業

営業エリアの拡大、付加価値品の販売増強等により、公共工事及び民間工事における建設資材の販売・納入が順調に推移し、増収増益となりました。

この結果、建設関連事業の売上高は9,888百万円（前年同四半期比33.7%増）、営業利益は384百万円（前年同四半期比51.7%増）となりました。

## ② 電設資材事業

電設資材事業は、公共工事及び民間企業の設備投資需要が持ち直し、売上高は回復したものの、価格競争が激化するなど利幅が縮小し、増収減益となりました。

この結果、電設資材事業の売上高は20,145百万円（前年同四半期比2.0%増）、営業利益は288百万円（前年同四半期比20.5%減）となりました。

## ③ カーライフ関連事業

石油部門では、燃料油の需要低迷に加え販売価格が低水準で推移したことにより、減収減益となりました。オート部門では、車両関連商品の販売に努めましたが、車検、車両販売ともに低調に推移し、売上高は前年並みを確保したものの減益となりました。

この結果、カーライフ関連事業の売上高は5,583百万円（前年同四半期比1.1%減）、営業利益は118百万円（前年同四半期比39.9%減）となりました。

## ④ 住宅・生活関連事業

主な事業として、農産物部門では、きのこ加工品の販売量が増加したことやきのこ培地の販売が順調に推移し、増収増益となりました。不動産部門では、建売物件の販売が順調に推移し、増収増益となりました。なお、当第3四半期連結会計期間より株式会社セイブ及び同子会社の株式会社スマイルハウスを当セグメントに加えております。

この結果、住宅・生活関連事業の売上高は5,110百万円（前年同四半期比22.0%増）、営業利益は212百万円（前年同四半期比34.4%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は19,031百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,360百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が1,281百万円、受取手形及び売掛金が3,188百万円増加したことによるものであります。固定資産は13,377百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が69百万円減少しましたが、有形固定資産が92百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、32,408百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,362百万円増加いたしました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は15,445百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,135百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が2,261百万円、短期借入金が784百万円増加したことによるものであります。固定負債は7,928百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,593百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が1,498百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、23,373百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,729百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は9,035百万円となり、前連結会計年度末に比べ633百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益634百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は27.0%（前連結会計年度末は30.0%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年8月9日の「平成28年6月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

#### 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

##### 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、株式会社ナガトクは前連結会計年度において非連結子会社でありましたが、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

第2四半期連結会計期間より、株式会社セイブ及び同子会社の株式会社スマイルハウスは、株式の取得により子会社となったため、連結の範囲に含めております。なお、みなし取得日を平成28年12月31日としており、当第3四半期連結会計期間より損益計算書を連結しております。

### (2) 追加情報

#### (繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,192	2,474
受取手形及び売掛金	9,314	12,503
商品及び製品	1,608	2,131
仕掛品	76	449
原材料及び貯蔵品	231	271
繰延税金資産	178	152
その他	1,116	1,092
貸倒引当金	△46	△43
流動資産合計	13,671	19,031
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,740	7,874
減価償却累計額	△5,414	△5,560
建物及び構築物（純額）	2,325	2,313
機械装置及び運搬具	5,232	5,578
減価償却累計額	△3,608	△3,827
機械装置及び運搬具（純額）	1,623	1,751
土地	6,092	6,114
リース資産	362	333
減価償却累計額	△153	△151
リース資産（純額）	208	181
建設仮勘定	0	0
その他	1,673	1,666
減価償却累計額	△1,425	△1,436
その他（純額）	247	230
有形固定資産合計	10,499	10,591
無形固定資産		
のれん	—	39
その他	290	295
無形固定資産合計	290	334
投資その他の資産		
投資有価証券	878	809
繰延税金資産	439	446
その他	1,496	1,433
貸倒引当金	△229	△238
投資その他の資産合計	2,585	2,451
固定資産合計	13,375	13,377
資産合計	27,046	32,408

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,101	7,362
短期借入金	5,549	6,333
リース債務	69	52
未払法人税等	181	170
賞与引当金	337	294
その他	1,070	1,231
流動負債合計	12,309	15,445
固定負債		
長期借入金	3,887	5,385
リース債務	124	107
繰延税金負債	13	61
再評価に係る繰延税金負債	382	382
退職給付に係る負債	1,496	1,548
役員退職慰労引当金	177	188
環境対策引当金	116	116
資産除去債務	62	62
その他	75	75
固定負債合計	6,334	7,928
負債合計	18,644	23,373
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,264	1,264
利益剰余金	6,653	7,202
自己株式	△93	△94
株主資本合計	7,823	8,371
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	90	180
土地再評価差額金	96	96
為替換算調整勘定	219	200
退職給付に係る調整累計額	△106	△97
その他の包括利益累計額合計	300	380
非支配株主持分	277	282
純資産合計	8,401	9,035
負債純資産合計	27,046	32,408

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
売上高	36,981	40,728
売上原価	31,684	35,089
売上総利益	5,297	5,638
販売費及び一般管理費	4,443	4,848
営業利益	853	790
営業外収益		
受取利息	8	7
受取配当金	3	13
持分法による投資利益	34	—
為替差益	—	42
仕入割引	116	118
不動産賃貸料	36	36
その他	52	57
営業外収益合計	251	275
営業外費用		
支払利息	121	102
持分法による投資損失	—	127
為替差損	171	—
売上割引	23	22
貸倒損失	30	—
その他	10	11
営業外費用合計	357	263
経常利益	746	802
特別利益		
固定資産売却益	8	2
投資有価証券売却益	0	—
投資有価証券評価損戻入益	—	22
受取補償金	495	—
負ののれん発生益	—	171
特別利益合計	503	196
特別損失		
固定資産売却損	4	9
固定資産除却損	30	6
投資有価証券評価損	22	—
役員退職慰労金	8	—
特別損失合計	66	16
税金等調整前四半期純利益	1,183	982
法人税、住民税及び事業税	301	340
法人税等調整額	51	△5
法人税等合計	353	334
四半期純利益	830	647
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	813	634



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	830	647
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△59	90
土地再評価差額金	20	—
為替換算調整勘定	△29	△22
退職給付に係る調整額	3	8
持分法適用会社に対する持分相当額	△21	△3
その他の包括利益合計	△86	73
四半期包括利益	744	721
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	735	714
非支配株主に係る四半期包括利益	9	6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成27年7月1日 至 平成28年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設関連	電設資材	カーライフ 関連	住宅・生活 関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,397	19,746	5,647	4,190	36,981	—	36,981
セグメント間の内部 売上高又は振替高	101	14	191	141	450	△450	—
計	7,498	19,761	5,839	4,332	37,432	△450	36,981
セグメント利益	253	362	197	158	972	△118	853

(注) 1. セグメント利益の調整額△118百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設関連	電設資材	カーライフ 関連	住宅・生活 関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,888	20,145	5,583	5,110	40,728	—	40,728
セグメント間の内部 売上高又は振替高	82	20	210	96	410	△410	—
計	9,970	20,166	5,794	5,207	41,138	△410	40,728
セグメント利益	384	288	118	212	1,004	△213	790

(注) 1. セグメント利益の調整額△213百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第3四半期連結累計期間において、株式会社セイブ及び同子会社の株式会社スマイルハウスの株式を取得し、連結範囲に含めたことにより、前連結会計年度末に比べ、「住宅・生活関連」のセグメント資産が1,856百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「住宅・生活関連」セグメントにおいて、株式会社ナガトクを連結子会社化したことにより、のれん金額に重要な変動が生じております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては48百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

「住宅・生活関連」セグメントにおいて、株式会社セイブ及び同子会社の株式会社スマイルハウスの株式を取得し、新たに連結子会社としました。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間において171百万円であります。

(重要な後発事象)

当社は、平成29年4月3日において、上燃株式会社の発行済株式のうち66.6%を既存株主である昭和シェル石油株式会社から取得いたしました。

(1) 株式取得の目的

当社は、石油製品の販売・車両販売及び整備事業を展開しているカーライフ関連事業において、変化のスピードが増す事業環境に対応し、更に競争力を高める施策について様々な検討を重ねてまいりました。

当社のカーライフ関連事業が長野県の北信地域を中心にネットワークを展開している一方で、上燃株式会社は、東信地域を中心に展開しており、ネットワークが補完関係にあります。また、事業領域は、当社のカーライフ関連事業と重複していることから、本件を通じてより多くのシナジー効果が見込まれると判断いたしました。

(2) 株式取得の相手先の概要

- ①名称 上燃株式会社
- ②住所 長野県上田市大屋243番地
- ③代表者 代表取締役社長 添谷 友常
- ④資本金 10百万円
- ⑤事業内容 石油製品販売、自動車買取・販売・関連用品販売、自動車整備業、損害保険代理業他

(3) 株式取得の時期

平成29年4月3日

(4) 取得する株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

- ①取得前の所有株式数 0株(持分比率:0%)
- ②取得株式数 13,320株(取得価額:1,043百万円)
- ③取得後の所有株式数 13,320株(持分比率:66.6%)